

今月の卒業生 第2回

佐藤印刷株式会社

専務取締役 西谷 憲一 (2回生)

SAT PRINTING

佐藤印刷株式会社は1959年創業。
今年で56周年を迎えます。
創業からそれぞれの時代で作らあげた
ノウハウと時代の先を進む独自の発想と
技術でこれからの時代を創りつづけます。
印刷に関してはお任せ下さい。

佐藤印刷株式会社

<http://www.marup.co.jp/>

JAPAN
COLOR

佐藤印刷株式会社 手稲工場

取材場所:京王プラザホテル札幌
聞き手:柳瀬実貿易 高橋 和将(28回生)

「今月の卒業生」

函館大学卒業生の今を紹介する第二回目は
札幌で活躍をされていらっしゃいます
佐藤印刷株式会社 専務取締役
西谷 憲一さん(2回生)です。

西谷さんは、同窓会札幌支部長として長年
ご尽力頂いていらっしゃいます。
今回は同窓会札幌支部の懇親会前
お時間を頂きありがとうございます。

西谷：札幌支部は毎年、八月の下旬に札幌市内で
懇親会を定期的に行っています。いつも楽しく
和気あいあいとした雰囲気ですよ。

西谷さんのご出身は札幌ですか？

西谷：私は元々、南茅部出身ですが函大を卒業して
現在の会社に就職してからずっと札幌です。
札幌に来てから、もう四十四年になります。

現在、佐藤印刷株式会社 専務取締役として
ご活躍をされていらっしゃいます。

西谷：創業も古いですし、御蔭様で昔から
変わらずのご愛顧を頂いています。
道内の漁業組合や教育機関等
全道に多くのお客様がいらっしゃいます。

最近の印刷業界のトレンドや景気状況は如何ですか？

西谷：印刷業界はデジタル化の流れや印刷技術の
向上がどんどん進んでいます。
昔は、印刷の版の確認作業等で一日に何回も
現場と客先を走ったりしましたが
今はデータをメール等で送って確認ですからね。
社内でも営業日報や業務連絡をタブレット
端末を使用してオンタイムで仕事が進められ
る環境が整っています。
私はあまり好きじゃ無いですがね(笑)

デジタル化への対応は早くから進められて
いたんですね。

西谷：そうですね。時代を読んだサービスや商品は
当然重要ですが、お客様との人間関係や
信頼関係を築く事がアナログ的な事ですが
まず一番だと思います。今の若い人は
デジタル世代ですから仕事の進め方に当然
スムーズに対応できるのですが、それ以外に
もっと人間力を身につけて欲しいですね。

西谷さんの大学時代は如何でしたか？

西谷：もう随分前ですが、思い出すと楽しい思い出
ばかりですね。私は応援団に所属していたので
大学一、二年は学ランで通学していました。
今じゃ考えられないですね。
当時は大学も先生も若くてかなり自由で
先生と学生の距離が近かった様な気がします。
ゼミなんかも教室じゃなくて
香雪園でゆったりしてね(笑)

本日は、色々とお話頂き有難うございました。
同窓会札幌支部へのご尽力も引き続き
宜しくお願致します。